

(ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 タウ関連遺伝子変異を持つ家族性パーキンソン症候群の臨床・画像・病理像の検討

【研究責任者】 病院脳神経内科診療部 高橋祐二(2022年6月より研究責任者が変更になりました)

【本研究の目的及び意義】

タウ遺伝子の変異を有する家系の臨床・画像・病理像の特徴を検討します。タウ遺伝子変異を有する例はまれであり、臨床・画像・病理像の検討を行うことは疾患理解において有益であると考えられます。

本研究では該当者由来の臨床情報や検査結果、試料等を、個人情報を消去したデジタルデータまた試料等を他の共同研究期間と互いに授受し、高度な病態研究を行います。データや試料等は各施設において、各施設で承認された方法によって厳重に保管されます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2012年1月1日より2020年12月31日までの間に、当院脳神経内科診療部で上記疾患の診療・検査等を受けた方

利用する試料・情報等

試料:血液、脳脊髄組織等

情報等:診療録、画像データ、遺伝情報等

研究期間

2021年5月28日より2023年3月31日まで

研究資金

本研究は、運営交付金(精神・神経疾患研究開発費)「認知症・神経変性疾患の基礎・臨床融合研究」(研究代表者 岩坪威、期間:2021年4月1日～2024年3月31日)、「疾患レジストリ・網羅的ゲノム解析を基盤とした神経変性疾患の融合的・双方向性研究」(研究代表者:高橋祐二、期間:2021年4月1日～2024年3月31日)、「NCNPブレインバンクの運営およびブレインバンク生前登録システムの推進」(研究代表者:高尾昌樹、期間:2021年4月1日～2024年3月31日)および科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)「コホート・生体試料支援プラットフォーム」(研究代表者:今井浩三;期間 2016～2021年度)で賄われ、特定の企業からの資金は用いません。また、本研究に係る全ての研究者及びその配偶者などの家族は、本研究で用いる機器、試薬などに関連する企業等との間に経済的利害関係、雇用関係は一切ありません。従って、研究者が企業等とは独立して計画し実施するものであり、研究結果及び解析等に影響を及ぼすことはありません。本研究に携わる研究者には、各機関での研究において、複数の寄付金、寄付講座、共同研究講座等多数の援助を多くの企業から受けていることもあり、これらの企業との利益相反が存在しますが、その利益相反が影響して研究結果が歪められることはないことを確認しています。

【共同研究機関】

順天堂大学

服部信孝、西岡健弥

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 島田斉、高堂裕平
公益財団法人東京都医学総合研究所 長谷川成人

2022年6月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 脳神経内科 氏名 高橋祐二

電話番号 042-341-2711

e-mail:yutakahashi ※ ncn.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncn.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)